

大学入学共通テストにおける不正行為の事案について（概要）

【概要（報道された内容）】

- 1月15日（土）、受験者である女子大学生が、「地理歴史、公民」の試験時間中に上着の袖にスマートフォンを隠して試験問題（「世界史B」）を動画で撮影し、インターネット上で中継役である会社員の男と共有。
 - 中継役は映像を切り取って静止画にし、当該受験者を装って、オンライン家庭教師マッチングサイトに登録している東大生（2名）に試験問題の画像（計30枚）とメッセージをスカイプで送信し、解答を依頼。
 - 当該東大生らは、試験時間内に解答（それぞれ10問以上の正答）を送信。
-
- 解答を送った東大生が大学入試センターに通報（志願者問合せ専用電話に連絡）

【経緯】

月 日	内 容
1月26日（水）	共通テストの試験時間中に「世界史B」の問題が外部に流出していた疑いがあるとの報道。
1月27日（木）	試験問題を流出させたという受験者・大阪府在住の女子大生（19）が香川県警に出頭。（自分が一人でやったとの説明）
1月28日（金）	センターから警視庁に被害届を提出。
2月9日（水）	センターにおいて当該受験者と面談し、不正行為を認定し、受験した科目の成績を無効とすることを決定。 （昨年度は不正行為を行っていないとの回答）
2月10日（木）	警視庁は、当該受験者・女子大学生（19）と、画像送信の中継役となったシステムエンジニアの男性（28）を偽計業務妨害容疑で東京地検に書類送検。
2月19日（土）	当該受験者が令和3年度共通テストでも同様の手口で不正を行っていたとの報道。（中継役も同様の人物）
2月25日（金）	センターにおいて当該受験者と再度面談したところ、一転して、昨年度も不正行為を行ったことを認めたため、28日（月）に令和3年度共通テストについてもスマートフォンを利用した不正行為を認定し、受験した科目の成績を無効とすることを決定。